

北陸における細胞治療イノベーションの戦略的展開

目標

学長のリーダーシップに基づく研究経営の推進

基礎医学・臨床医学の協働／地域社会への研究成果の展開

- 先端的かつ身近な治療を開発
- 事業期間内での実用化を目指す

- 金沢医科大学をハブとする北陸地域ネットワークを構築する

研究支援体制

- 再生医療センター（細胞加工施設）
- 共同利用センター
- 臨床試験治験センター
- 研究推進センター

支援

参加

各講座

研究テーマ「細胞治療」

- 「計画研究チーム」は膵臓がんを対象とする樹状細胞ワクチン療法の開発、細胞のバンク化等、基盤的研究を進める。
- 同チームは複数の「公募研究チーム」による実用化に近い研究を支援する。（細胞、プロトコル提供等）
- 新規技術は疾患モデルに適用し、有用性を検証する。さらに人への適用を目指す。
- 取得したデータはBLがアサインし、データベースを構築、公開する。
- 産学連携あるいは技術移転を目指し、特許等を取得する。

細胞のバンク化

データベース構築・公開

知的財産権

他研究機関（大学等）

地域ネットワーク構築・展開

社会展開活動

- 社会展開の効果的実現のため、細胞治療の北陸地域ネットワークを構築する。石川県等と連携する。
- 前記のネットワークには、①産学連携、②人材育成、③情報発信、④データベース活用の部会を置き、それぞれ社会展開を加速する。
- 金沢医科大学認定再生医療等委員会の体制を拡充し、他病院・診療所に対して審査等業務(第3種)を提供する。
- 新たに特定認定再生医療等委員会を設置し、審査等業務(第2種)を提供する。
- 開発した新規細胞製品について、学外の病院等に提供する。

- 他病院・診療所
 - 再生医療等提供計画審査等業務(第2・3種)の提供
 - 医療材料(細胞)の提供

- 広報（冊子、HP等）
- ビジネス展

- 見学会
- セミナー
- シンポジウム

- 講座（人材育成）

学長主導の事業統括体制

学長

ブランディングリーダー(BL)

研究デザインマネジメントチーム(DMT)

スタッフ組織

- 研究ブランディング推進WG
- 自己点検・評価WG
- 研究推進会議
- 大学運営会議

外部評価体制

- 外部評価委員会（企業役員等(4名)、石川県、金沢市、日本医療政策機構）

ブランドイメージ「細胞治療の金沢医科大学」の浸透

金沢医科大学における研究経営体制の強化